

電動生ごみ処理機

キッチンに置ける電気乾燥式の生ごみ処理機です。生ごみを混ぜながら温風で乾燥させ、体積が約7分の1のサラサラの乾燥処理物にします。

電気代はかかりますが、虫や臭いの心配はほとんどありませんし、堆肥として使用しない場合は燃やせるごみとしてコンパクトに捨てられます。

使用方法

1 生ごみの投入

水分が多いと処理に時間がかかります。生ごみはよく水切りし、量にもよりますが、1日分まとめて処理機に入れると経済的でしょう。

2 乾燥処理

ふたを閉めてスタートボタンを押すと処理が始まり、終わると自動で停止します。500グラムの処理に2時間前後かかります。

3 生ごみの追加

生ごみの量と機種にもよりますが、およそ1週間くらいは処理物を取り出さずに生ごみを追加して処理できます。

4 生ごみの取り出し

処理機が一杯になったら、処理物を取り出します。

5 堆肥化

処理物を堆肥として使用するためには、土に埋めるなど土の中の微生物で有機成分を分解する必要があります。堆肥化まで2～3か月かかります。

ワンポイント

肉の骨や大きな魚の骨、貝殻などの硬いものや天ぷら油などの油類は処理できません。

堆肥化に向かないもの

- 鶏・豚などの大きい骨
- 貝殻
- 果物の種
- とうもろこしの芯
- 食べ物以外（アルミホイル・プラスチック・タバコの吸殻など）